

メディカルコート八戸西病院広報誌 / ホスピタリティコート

hospitalityCourt

特集	地域医療 フォーラム	コロナ禍での大学教育 地域のための研究を 弘前大学長 福田 眞作さん
	社長の健康 メッセージ	東京鉄鋼株式会社 環境リサイクル事業部長 佐々木 文雄さん
LIFE WORK HISTORY 人にライフあり、ワークあり、歴史あり / チャレンジ改善委員会 もっと開こう、地域へ OPEN HOSPITAL / One Day 医療人 しあわせ Chisan Sweets / Information / イベントスケジュール		



コロナ禍での大学教育 地域のための研究を

青森県内にも新型コロナウイルスの影響が広がり始めた2020年4月、弘前大学長に福田眞作さんが就任しました。教育現場も大きな変革が迫られた中、同大では知恵を絞り、地域のための研究と人材育成を続けています。コロナ禍での2年間の取り組みと、今後の大学運営について、公益財団法人シルバーリハビリテーション協会の田中理事長が、福田さんに伺いました。

弘前大学長 福田 眞作さん

1956年秋田県出身。弘前大学医学部卒。専門は消化器内科。2016年から同大医学部附属病院長、同大学長特別補佐を務め、20年4月、同大学長就任。



田中 学長就任とほぼ同時に青森県内にも新型コロナウイルスの影響が広がり、大変なスタートでしたね。

福田 就任が決まった頃は、まさかこのような事態になるとは想像もしていませんでした。誰もが経験したことがない状況下で教育研究や地域貢献を担うことになり、重圧を感じたのが正直なところですね。

感染症は命に関わることで、学生、教職員を守るため、しっかりと対策を行うことが第一だと考えました。まず行ったことは、感染リスクが高い対面授業を止め、オンライン授業やメディア授業に切り替えるための準備。授業開始は2週間遅れたものの、学びを止めなかったことは一つの成果だと思います。

田中 学生の皆さんの間でも、かなり混乱が広がったのではないのでしょうか。

福田 学生約6千人のうち半数近くが奨学金を受けているのですが、アルバイトが制限されたことで生活に困窮する学生が続出しました。そこで行った代表的な取り組みが「100円昼食・夕食」です。学生と地元商店の双方を支援するためのプレミアム商品券の発行もしました。その費用を大学の資金だけで賄うのは厳しいため、クラウドファンディングなどで寄付を集めたことは、全国に先駆けした取り組みではないかと思います。卒業生をはじめ、全国の多くの皆さんからの支援があったおかげで、金銭的な理由で中退した学生ははいませんでした。

田中 学生さんの生活を守り、勉学を止めないため、教職員の皆さんが一丸となって取り組んでいたんですね。地域のために行っている事業はありますか？

福田 本学では、県内16自治体と包括連携協定を結び、それぞれが抱える課題の解決に取り組んでいます。八戸市など県南地方にはまだ空白地帯があるので、ぜひ協定を結び、地域活性化のため、共に歩みたいですね。

大学が持つ知的財産を生かした、地元企業との共同研究も活発です。県南地方だと、健康食品として有名な「黒にんにく」の成分研究をしたほか、おいらせ町の企業が、黒にんにくの製造技術を応用して開発した

「黒」ぼろ」の健康機能性研究を本学で進めて製品化につなげた健康茶「だぶる黒茶」があります。

田中 2021年発表の日本経済新聞社「採用を増やしたい大学ランキング」では、弘大が2位に輝きました。このように地域の課題に取り組む姿勢が、企業からも高く評価されていると感じます。

福田 地域の課題に向き合うことで、視野を広げることができます。その上で、相手の話をよく聞き、自分の考えを簡潔に述べることであれば、社会に出てからもどん

どん成長できるはず。本学で過ごした学生時代、勉学に実直に取り組んだ経験を生かして社会で活躍する卒業生が多いことが、企業側として魅力を感じるのかもしれない。

田中 これからの大学運営については、どのようなビジョンをお持ちですか。

福田 本学は多様な研究を行い、実績を上げてはいるのですが、全国的には知名度が低いのが現状です。もっと弘大の名を広めるためには、まず学生の満足度を高めることが大切。学生の要望を拾い上げ、しっか

り対応することを繰り返していきたいです。

今秋、全国の高校生を対象にした「太宰治記念 津軽賞」を始めます。自分の地域の課題を取り上げ、それに対する考えを述べる小論文コンテストです。本学で一番有名な卒業生は太宰治。彼の小説「津軽」は、優れた地域論として読むこともできます。これをきっかけに、たくさん的高校生に本学を知ってもらい、受験してほしいですね。

また、このたび青森南高と高大連携公開講座の協定を結びました。コロナ禍によりメディア授業の環境を整えたことを、ポジテ

ィブに捉えた取り組みです。高校側の通信環境さえ整っていればどの学校ともつながることができますので、ぜひ八戸地域の高校とも連携し、将来を担う皆さんと出会いたいと思います。

田中 今後も大学と地域がつながることで、未来への可能性が広がりますよね。

本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

体をよく動かし
趣味を長く続けたい



社長の健康メッセージ

リーダーの人生は健康メソッドの宝庫だ。

vol.28

東京鉄鋼株式会社

環境リサイクル事業部長
上席執行役員

佐々木 文雄 さん

profile: 1963年五戸町出身。八戸工業高、日本大学工学部土木工学科卒業。89年東京鉄鋼入社。2017年環境リサイクル事業部長、21年上席執行役員就任。

手作り野菜ジュース

高校を卒業するまで五戸町で育ち、大学進学をきっかけに上京しました。入社後はずっと東京で勤務していたので、八戸に赴任したのは今回が初めてです。

地元には頃は、サッカー、野球、柔道と、さまざまなスポーツに励みました。小学校時代は、冬に氷の張った田んぼでスケートもやっていましたね。体を動かすことは好きでしたが、大学入学直後、バイクに乗っていたところトラックに巻き込まれる事故に遭い、骨盤がゆがんでしまいました。それをきっかけに始めたのがヨガ。学生時代は回復したいという一心で、懸命に取り組んでいました。

しかし、就職後は体を動かす習慣がなくなり、30歳を過ぎた頃に腰痛が悪化。35歳で検査入院をしました。今でも腰痛はありますが、うまく付き合っていくしかないと考え、ストレッチを心掛けていますし、体重を増やさないう、仕事帰りにはスポーツジムで軽く走っています。車社会の八戸では歩く機会が減ったので、自宅から一時間程度かけて徒歩通勤することも。体をよく動かして健康を維持し、趣味のゴルフを長く続けたいです。

また、妻の協力を得て、食事の塩分量にも気を付けています。味付けはこしょうや七味唐辛子などで。冷ややっこはしようにゆをかけず、ネギだけで食べるのが好きです。妻が冷蔵庫にある野菜と果物で作るジュースも、健康づくりの一助になっていると感じています。

新入社員と「種差ウォーク」

当社の八戸工場の敷地内にはトレーニングジムを併設した体育館があり、多くの従業員が汗を流していますし、一般開放もしているので、地元の方がバレーボールやテニスを楽しんでいる姿も見かけます。従業員の健康管理として行っている

ことは、健診やストレスチェックはもちろん、特殊健診やメタボリックシンドロームへの保健指導など。人間ドックの対象年齢は、以前は40歳以上でしたが、現在は35歳以上です。

また、コロナ禍になる前の毎年春には、栃木県にある本社工場での研修を終えて八戸工場に配属される新入社員と所属先候補の課長で、「種差ウォーク」を行っていました。午前8時半に工場を出発し、徒歩で種差海岸に向かい、着いたらおいしいご飯を食べて帰ってくるイベントです。長い時間歩くので、いろいろな会話をしながら、新入社員一人一人の性格や考え方を知り、配属先を決めている

二刀流で環境保全に貢献

八戸工場は、電気炉で鉄スクラップを溶かし鉄筋コンクリート用棒鋼を生産する鉄鋼事業と、廃自動車、廃家電などの資源リサイクル事業を軸に事業を展開しています。

工場敷地内にある大型シュレッダーで、主に北東北地方から集めた廃自動車、廃家電を破砕し、鉄とプラスチックなどに分別。鉄は電気炉へ、プラスチックは炭化炉に回します。炭化炉で蒸し焼き処理を行い発生した炭化物は、電気炉で棒鋼を生産する際の燃料として活用。かなりの高温になる電気炉では、棒鋼の生産だけではなく、医療廃棄物や、アスベストなどの産業廃棄物の溶融処理も行っています。

当社を含め、八戸市内に工場を構える5社は、産業廃棄物をそれぞれの事業分野に合わせて相互流通させ、安全かつ低コストで再資源化する「あおりエコタウン」を構成しています。その中核を担うのが、国内で唯一、敷地内に電気炉と炭化炉がある当社です。時代の流れとともに

data

東京鉄鋼株式会社

住所: 青森県八戸市
河原木海岸4-11
設立: 1939年6月



八戸工場は昭和51年に創業を開始。環境リサイクル事業では、廃自動車や廃家電、医療廃棄物などの資源リサイクルを行っている。廃棄物を安全・低コストで再資源化する「ゼロエミッション」を目指す「青森エコタウン」の中核施設として、地域社会の環境保全に貢献している。



ホスピタリティ

もっと向上できる、ホスピタリティ。

チャレンジ 改善委員会

医療安全

サービス、医療安全、感染対策などをホスピタリティ目線で改善するプロジェクト展開中です。



自動精算機を導入しました



自動精算機のご利用時間は、平日8:30～16:00、土曜日8:30～11:30となっています。

外来や入院費の会計では、簡単な操作で短時間のお支払い手続きができる自動精算機を導入しました。現金のほかにクレジットカードでのお支払いにも対応しています。これまでの窓口での個別対応ではどうしても時間がかかっていましたが、今後は会計時間が短縮され、混雑解消と待ち時間の短縮が期待されます。ご利用方法に不安がある方は、従来通り、窓口スタッフがサポートいたしますのでお気軽にお声がけください。なお、電子マネーご利用の場合は、当面は窓口対応となりますのでご了承ください。



快適性の高い検査用ベッドに更新しました



ベッド幅が広くなり、患者さまの乗降しやすい高さ、検査しやすい高さ、それぞれに調整できるタイプです。

超音波検査室と脳波検査室の従来のベッドは、体格の大きい方や麻痺のある患者さまにとっては、腕の置き場が狭いと感じるコンパクトなサイズのものでした。その対策として、従来より約22%幅が広く、患者さまの体格に合わせて高さ調整できる快適性の高いベッドに更新しました。これにより、従来より余裕のある寝心地に改善でき、快適に検査を受けて頂けるようになりました。今後も、患者さま一人ひとりに対応できる柔軟な検査環境に改善できるよう努力してまいります。

人にライフあり、ワークあり、歴史あり。

兼務する学校薬剤師を通じて地域貢献活動

当院での薬剤師業務とともに、長年のライフワークである学校薬剤師を続けています。担当の学校は、西園小学校と百石高校の2校です。学校薬剤師は、学校保健安全法により、大学以外の学校には1名以上配置することが定められていることから、私の場合、非常勤職員として任用され、必要に応じて学校に出向いて業務を行います。活動内容は、学校における環境維持管理について助言と指導が主な仕事です。換気、採光、照明、水質などの学校環境の維持のほかに、尿検査、薬物乱用防止講習会開催、プール検査、ダニアレルゲン検査、全国一斉学校環境調査、給食検査や一般環境検査も実施しています。また、百石高校では、食物調

理科の2年生を対象に手の衛生検査（パームスタンプ法）と手洗い衛生の授業を年1回行なっています。児童生徒の誰もが、人生の中で薬に関わることになります。正しい薬の知識と認識を持つための手助けをし、しっかりと人生を歩んでいける一助になるように活動を継続していきたいと思います。

略歴

1980年	東北薬科大学薬学部薬学科卒
1982年	八戸赤十字病院薬学部 入職
2020年	八戸赤十字病院薬学部 退職
2020年	当院薬剤科入職 同科科長就任



※上記取材内容は2022年4月時点のものです。

H W L
I O I
S T O R Y
R K E

当院には、さまざまな経歴や資格をもつ職員が在籍しています。その個性を生かした活躍ぶりやリアルエピソードをご紹介します。

先輩も医師もいっしょに
学びをサポートしてくる。

#05

診療放射線技師

Radiological Technologist

医師の指示のもとで放射線を用いた検査や画像診断、治療に携わる医療技術職です。レントゲン(X線)のほかCTやMRI、マンモグラフィ検査も担当します。技師の技量差が診断に影響するため緊張する仕事ですが、自分が撮影した写真で医師に病気などを見つけてもらえるのが一番のやりがいです。

八戸西健診プラザ
診療放射線技師：森村 奈緒子
弘前大学卒



館内と巡回の両体制で地域の健康を支える八戸西健診プラザ



施設内健診と同等の検査業務を行う
検診車による巡回健診も担当します。

07:30 出勤・準備

08:00 午前業務スタート

館内業務は日によって変わりますが、レントゲンやCT、MRI、マンモグラフィ、バリウム検査などを担当します。検査によっては注意事項も多いため、お客さまに合わせて理解しやすいように言葉を選んで対応します。



12:00 昼食休憩

外食派もありますが、お弁当持参派の私は同世代の同僚と一緒に休憩室で昼食休憩。できるだけ仕事抜きのリラックスタイムとしています。



13:00 午後業務スタート

巡回健診では一人で検査を行うため、スムーズにできるように撮影の段取りなど事前に先輩と確認しています。早く終わった日は、資格取得のため勉強の時間にあてています。



16:30 業務終了

Note 新たな資格取得のために
症例検討会で技術を磨いています。

資格取得に必要なたくさんの症例について医師や先輩技師と一緒に勉強ができる環境です。現在「マンモグラフィ認定技師」取得を目指し猛勉強中ですが、学ぶ環境が整っているのが魅力です。



もっと開こう、
地域へ。

OPEN
HOSPITAL

オープンホスピタル

総合臨床実習

青森県立保健大学 理学療法学科

地域の医療実習生や職場体験の受入れに
私たちは積極的に取り組んでいます。

実際に患者さまの回復の喜びを
現場で共有できる実習

1月11日～2月19日までの6週間、
青森県立保健大学理学療法学科3年生の初期総合臨床実習が当院の回復期リハビリテーション病棟で行われました。

診療参加型臨床実習という形式で行われ、実習生は理学療法士と一緒にリハビリテーション治療に参加し、実体験を通して学べる内容としています。

患者さまの運動機能の回復を目の当たりに一緒に喜んだり、指導者への積極的な質問など、一生懸命な姿勢が印象的で、現場での体験からやりがいを実感している様子でした。実習生からは「手技や装具療法などの臨床現場や一連のリハビリテーションを体験できたことは今後にとっても役に立つと感じ、勉強になった」と感想をいただきました。

これからも、回復期リハビリテーション病棟のスタッフとして、患者さまと笑顔を分かち合えるリハビリテーション医療を実習生に指導できるよう、研鑽していきます。



記録は当日に指導者が確認します。今日実施した患者さまは、どういったポイントでリハビリを行ったか話し合いました。



筋力向上にはマシントレーニングも有効です。どのくらいの負荷がいいか、測定機器を使用して決めています。



患者さまに下肢装具を装着して歩行訓練を行います。装具をつけると歩行能力が向上し、より早く回復することを学びました。



指導のもと、下肢のストレッチを行いました。実際に患者さまの身体を触診しながら、効率よくストレッチする技術を学びました。

i Information

認定理学療法士が8名になりました

当院では、学会や講習会を受講し、循環器、地域に対する豊富な知識を得た「認定理学療法士」が2名在籍しています。令和4年3月では、さらに6名のスタッフが脳卒中、運動器、呼吸の認定理学療法士の資格を取得しました。今後もより質の高いリハビリテーションを提供してまいります。



「38ローカルデイズプロジェクト」e-book配信中

女子目線で三八地域の魅力取材し、発信・情報共有する「38ローカルデイズプロジェクト」のe-book（電子書籍）が配信中です。八戸聖ウルスラ学院高校の女子生徒さんによる八戸西健診プラザの取材の様子や、地元企業の取り組みがフレッシュな目線で伝えられています。QRコード（写真左下）から是非ご覧ください。



成人男性の風しん抗体検査が受けられます

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象とした風しん抗体検査が、当院と八戸西健診プラザいずれでも受けられます。健診プラザでは定期健康診断と同じ日に検査可能です。当院ではワクチン接種も行っています（事前予約と市町村発行の無料クーポン券が必要）。お気軽にご相談下さい。



八戸西健診プラザの胃部X線撮影装置を更新しました

八戸西健診プラザのバリウム検査で使用する胃部X線装置を更新しました。高精細な画像の撮影や、被ばく線量低減の技術に加え、電動の肩当てや、角度調節の機能の導入により、これまでよりも受診者様の上下移動や角度調節の負担が少なくなり、詳細な撮影が可能になりました。



地域の農家さんが地域の土と空気と水で育てた食材でおいしくいただいて健康になるしあわせ地産スイーツ。

しあわせ
Chisan
Sweets

おいらせ町産いちごを使って
いちごゼリーテリーヌ

Strawberry Jelly Terrine

いちごはビタミンCが豊富な果物。5粒ほど食べれば1日に必要なビタミンCの半分を摂取することができます。さっと水洗いするだけで、皮をむいたり、調理する手間が無く食べられます。ビタミンCには抗ウイルス作用があり、感染予防に効果的です。また、コラーゲンを生み出す必須成分であるため、美容にも良い働きをするので、心掛けて食べましょう。

【作り方】

- ①いちごは綺麗に洗ってヘタをとってボールに入れておく。
- ②熱湯と粉ゼラチンを混ぜ溶かす。
- ③さらに砂糖を加えて混ぜ合わせる。
- ④レモン汁と分量水200mlを加える。
- ⑤いちごのボールにゼラチン液を流し入れざっくり混ぜたら、パウンド型に入れ、冷蔵庫で2時間以上しっかり冷やし固める。
- ⑥固まり始めた時に、ラップをかけて浮いているいちごを軽く押し込む。
- ⑦しっかり固まったら、型の周囲を軽く湯煎で温め水気を拭きとり、お皿をかぶせてひっくり返す。

【材料】4人分

熱湯・・・・・・・・・・ 200ml
粉ゼラチン・・・・・・・・ 10g
砂糖・・・・・・・・・・ 60g
レモン汁・・・・・・・・ 大さじ3
水・・・・・・・・・・ 200ml
いちご・・・・・・・・・・ 500g



栄養士
名久井 聖子
介護老人保健施設 しもだ



公式Instagramで
ご覧いただけます

Event イベントスケジュール

6月1日(木)～27日(月)	終日	市川 清一写真展	1Fアートストリート	自由観覧
6月14日(火)～7月9日(土)予定	終日	七夕飾り	1F交流ホール	自由観覧
7月1日(金)～29日(金)	終日	水彩画・点画作品展 山本悠宮氏	1Fアートストリート	自由観覧

お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ステージパフォーマンスを自粛しています。
- ・1Fアートストリートでは、リハビリ患者さまの作品を随時展示しています。

もっと気軽に、
医療のいろいろなことを相談できる
当院公式WEBサイト「診療科トピックス」
をご利用ください。

当院では、患者さまの疾病や障害、健康などに関するお悩みについて、さまざまな専門外来の診療科と専門スタッフに、もっと気軽にご相談いただけるきっかけづくりとして、公式WEBサイトに「診療科トピックス」を設置しています。スマホやPCでのアクセス、またはお電話でご相談ください。

〈最新トピック〉

- ・糖尿病内科について
- ・特定健康診査について



●スマホ、PCでご覧の場合

公式WEBサイト
「診療科トピックス」ページ



●お電話の場合(外来のご相談・ご予約)



0120-824-489

受付時間 平日 9:00～12:00/13:30～16:30 土曜 9:00～12:00

Note 編集ノート

令和4年度の新人オリエンテーションを行いました。

今年も新入職員の新人オリエンテーションを行いました。新型コロナウイルス感染予防のため規模を縮小したオリエンテーションとなりましたが、看護部、リハビリテーション部、診療部をはじめとする32名の職員が新しく仲間に加わり、社会人としての第一歩を笑顔で踏み出すことができました。これから、当院職員として、SGグループの一員として、ともに地域医療に貢献できるよう努力してまいります。



研修では、当院の概要や各部署の業務内容のほか、院内の感染対策や医療安全などについて学びました。

